

## 国際看護研究会第5回学術集会（第26回国際看護研究会）

日時： 2002年9月14日（土） 9:30～17:00

会場： 国際協力事業団青年海外協力隊広尾訓練研修センター  
東京都渋谷区広尾4-2-24 TEL：03-3400-7717

学術集会会長：日本赤十字武蔵野短期大学 小原真理子

学術集会テーマ：災害看護と国際協力～地域防災に対する看護職への提言～

### 《プログラム》

9:00～9:30 受付

9:30～9:35 開会

9:35～10:30 基調講演 「災害看護と国際協力～地域防災に対する看護職への提言～」  
大会会長 小原真理子（日本赤十字武蔵野短期大学）

### 第1会場（3階講堂）

10:35～12:05 一般演題第一群 「災害看護活動」  
座長：今井家子（日本赤十字社医療センター）

1. エル・サルヴァドル地震災害国際緊急援助隊活動報告  
兵藤悦子、後藤美智子（国立病院東京災害医療センター）
2. ピナツボ噴火災害11年後の保健調査活動報告  
～保健指導における人材育成の重要性の再確認～  
大内田康子（都立広尾病院）、鳥谷部あきこ（日大板橋病院）、戸澤薫（日本医科大付属病院）、大西潤子（日赤武蔵野短期大学）、戸田千賀子（飯田市役所）、小林あかね（名古屋掖済会病院）、杉山清美（名古屋掖済会病院）
3. 現地の自主性を促すために  
～赤十字国際委員会スーダン紛争犠牲者救援活動に参加して～  
桐山真紀子、市川登美恵、奥田悦子（武蔵野赤十字病院）
4. 日本赤十字社 国際救援・開発協力要員基礎研修に参加して  
皆川恵理子、市川登美恵、奥田悦子（武蔵野赤十字病院）

5. キャリア開発としての国際救援活動を考える  
尾山とし子（日本赤十字武蔵野短期大学）

6. ニカラグアにおける災害看護教育の現状  
瀧尻明子（群馬大学大学院学生）

12:00 ～ 13:00 昼食

13:00 ～ 13:30 国際看護研究会平成14年度総会

13:30 ～ 14:00 一般演題第二群 「在日外国人への看護」  
座長：尾山とし子（日本赤十字武蔵野短期大学）

7. 外国人妊婦の外来診療に対するニーズ調査  
林麻衣子（群馬大学医学部附属病院）

8. 在日外国人患者と日本人看護職のコミュニケーション成立過程  
～非言語的コミュニケーションに注目して～  
奥野美幸（群馬県立小児医療センター）

13:40 ～ 14:40 一般演題第三群 「リプロダクティブヘルス・ライツ」  
座長：丹野かほる（前厚生労働省健康局国立病院部政策医療課）

6. カンボジアにおける母子保健の実状  
大平光子（大阪府立看護大学）、中尾優子（長崎大学医療技術短期大学部）

7. ガーナの高校生の性意識、リプロダクティブヘルスに関する知識調査  
大橋陽（群馬大学医学部保健学科修士課程）

8. ガーナの高校生に対する健康教育実施の効果と今後の課題  
大橋陽（群馬大学医学部保健学科修士課程）

9. インドネシア国の母子手帳普及国際協力における保健婦の活動  
宮地文子（埼玉県立大学看護学科）、芝山江美子（埼玉県児玉福祉保健総合センター）

14:05 ～ 16:05 ワークショップ「災害看護教育と国際救援看護活動」  
座長：山崎達枝（東京都立広尾病院）

「わが国の国際緊急援助と人材育成」  
笹館孝一（国際緊急援助隊事務局）

「インドネシア共和国地震災害での活動報告と看護師の役割について」  
吉岡留美（JA-LP ガス情報センター）

「アフガニスタン難民キャンプでの医療活動」  
工藤ちひろ（AMDAER ネットワーク登録看護師）

「災害看護海外研修に参加して」  
戸澤薫（日本医科大学付属病院）

16:10 ～ 16:15 閉会 第一会場

16:15 ～ 17:00 茶話会 第一会場

## 第2会場（2階大会議室）

10:35 ～ 11:50 一般演題第三群 「地域特性に根ざした看護」  
座長：中川禮子（日本赤十字武蔵野短期大学）

9. エチオピアの小児死亡率原因の統計及び実態調査の考察  
小林繁郎（国際協力事業団エチオピア国ポリオ対策プロジェクト）
10. インドネシア北スラウェシ州における地域助産師の役割と活動実態調査  
芝山江美子（国際医療福祉大学大学院生）、宮地文子（埼玉県立大学）
11. The Current Situations and the Role of Nurses in the Community Health Nursing in  
The Independent State of Samoa  
中野康子（山口県立大学大学院）、Marcia A.Petrini（山口県立大学看護学部）
12. フィリピン サンタ・ルシア再定住地区の健康調査～迅速評価を用いて～  
弘中陽子、蛭田寛子、井谷貴子、重松佐穂、新井美和子、松原薫、梅木民子  
（国際看護交流協会災害看護海外研修生）
13. フランス ロレーヌ地方の予防医学センターを視察して  
刀根洋子（日本赤十字武蔵野短期大学）

12:05 ～ 13:00 昼食

13:00 ～ 13:30 国際看護研究会平成14年度総会

**13:30 ～ 14:15 一般演題第六群 「途上国での看護」**

**座長：小原真理子（日本赤十字武蔵野短期大学）**

14. マーシャル諸島共和国における母子保健の現状  
鈴木圭子（日本赤十字秋田短期大学）
15. バングラデシュの妊婦検診の現状  
渡邊聡子（群馬大学大学院医学系研究科）
16. スリランカの女性のライフサイクルー病院看護職者のアンケートから  
磯邊厚子（立命館大学社会学研究科博士前期課程）

**14:20 ～ 15:20 一般演題第五群 「活動上の問題点」**

**座長：大西潤子（日本赤十字武蔵野短期大学）**

17. エイズ患者、感染者の在宅療養における体温計の活用  
斉藤文代（元 JICA シニア海外ボランティアタイ派遣）
18. 国際協力活動を行う上での異文化理解の難しさと重要性  
～ジャマイカにおいて体験した事例に関する一考察～  
畔柳良江（群馬大学医学部保健学科）
19. 開発途上国における保健医療協力活動上の困難  
～マーシャル諸島共和国に派遣された看護職の報告書の分析～  
鈴木圭子（日本赤十字秋田短期大学）
20. ネパールの NGO 病院での看護体験を通してとらえた問題点  
山下カツエ（武蔵野中央病院）

**15:25 ～ 16:10 一般演題第六群 「医療廃棄物／研究動向」**

**座長：大西潤子（日本赤十字武蔵野短期大学）**

21. ニカラグアにおける医療廃棄物についての活動  
甲斐仁美（大分県立看護科学大学）
22. 医療廃棄物処理法に関する国際協力の実際  
足立典子（前国際協力事業団シニア海外ボランティア）
23. 国際看護分野の文献量と研究動向の分析  
平岡敬子（呉大学看護学部）、吉野純子（日本赤十字広島看護大学）

**16:10 ～ 16:15 閉会 第一会場**

**16:15 ～ 17:00 茶話会 第一会場**